学校番号	3015

令和３年度　芸術科

教科	芸術科	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ（光村図書）						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の授業で学んだ書写を発展させ、芸術としての書の様々な表現方法を学びましょう。
・用具用材の違いによる表現、楷書・行書・草書・隷書・篆書・仮名といった書体を体験する中で基本的な筆の使い方から学び、自らの作品制作に活かしていくことを目指します。
・作品の鑑賞、身近に飾ることの出来る作品を制作する事で、表現する楽しさや充実した時間を味わい、書を愛好する心を育てます。

２　学習の到達目標

書の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書表現・書写能力の技術向上を図る。また鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書の様々な表現を感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的なの技術を活かし、効果的な表現の技能を身につけ、表している。	日常生活での書の効用や伝統と文化について理解し、それらの表現方法や書の美しさを味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書写と書道(書体の変遷)	・国語科書写と芸術科書道 ・文字(漢字)の成り立ち 甲骨文字(象形文字)から文字の表現に興味を持つ	○	○	○	○	a:書写と書道の類似点・相違点、様々な書体に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえた表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身につけ表現している。 d:書写と書道の類似点・相違点、文字の成り立ちについて理解し、幅広い書の表現を味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
5	漢字の書(五書体の学習から1文字作品制作へ)	・五書体の学習 ・うちわへ漢字一文字作品制作 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:五書体(楷書・行書・草書・隷書・篆書)の美しさとその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する運筆を実につけ表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、その美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
6	名印づくり	・名前の1文字印の制作	○	○	○	○	a:名前の篆書体調べを通して書体の変遷に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻における分間分白を理解し、表現を工夫している。 c:印刀の基本的な使用方法を身につけ、表している。 d:様々な印影を鑑賞し、印の表現方法を味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品

7 8	漢字の書 (行書)	・「風信帖」「蘭亭序」の臨書	○	○	○	○	a:行書の古典の書から風土や時代の違いに興味を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:行書の特徴を理解し、筆の弾力を活かすよう工夫して表現している。 c:古典の臨書を通して行書の基本的な運筆方法を身につけ、表している。 d:各古典の歴史的価値や作品の背景を知り、それらの美しさや表現方法を味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
9 10	漢字の書（楷書）	・古典臨書から半切1/2サイズの作品制作	○	○	○	○	a:楷書の古典の書から風土や時代の違いに興味を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:楷書の特徴を理解し、筆の弾力を活かすよう工夫して表現している。 c:古典の臨書を通して楷書の基本的な運筆方法を身につけ、表している。半切1/2への収め方、作品の全体感を意識し表現している。 d:各古典の歴史的価値や作品の背景を知り、それらの美しさや表現方法を味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
11	仮名の書	・仮名の成立 ・仮名の基本運筆 ・「蓬莱切」「高野切」の臨書 ・散らし書きによる創作	○	○	○	○	a:仮名の発生から成立、日本の歴史的背景、美意識に興味を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の書の特徴を理解し、小筆の弾力を活かすよう工夫して表現している。 c:古筆の臨書を通して仮名の書の基本的な運筆方法を身につけ、表している。連綿や変体仮名といった仮名の表現を理解し表現している。 d:各古筆の歴史的価値や作品の背景を知り、それらの美しさや日本人の感性に基づいた表現方法を味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品

12		・年賀状制作	○	○	○	○	a:身の回りにある書の表現（年賀状）に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:連綿や散らし書きの技法を身につけ表している。 d:暮らしの中に書の表現を活かすことを理解し、それら表現方法や美しさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
1		・漢字かな交じりの書（平仮名の連綿と漢字による表現）	○	○	○	○	a:用具用材や墨色の違いによる表現の方法に関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:漢字と仮名との調和を意識し、表現を工夫している。 c:様々な書体と作品のイメージを結びつけ自らの作品に表現している。 d:文字や文章の意味やそれらをイメージさせる様々な表現方法を味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
2 3		・校内展示の作品鑑賞 ・相互批評会	○	○	○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の表現方法を感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を表現できる技術を身につけ、表している。 d:互いの作品を鑑賞し、それぞれの作品の意図や表現方法を味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。